

受付者		領収書類		出納帳等の確認	
-----	--	------	--	---------	--

平成29年度 こうなん ふれあい助成金完了報告書

社会福祉法人 横浜市港南区社会福祉協議会 会長 様 平成 年 月 日
 平成29年度事業について、つぎのとおり完了いたしましたので報告いたします。

申請団体	ふりがな				ふりがな				
	団体名				代表者氏名		印		
	代表者	住所	〒						
		電話			FAX				
	ふりがな				住所	〒			
	連絡担当者名				電話			FAX	
					メール				
	ふりがな				住所	〒			
	会計責任者名				電話			FAX	
					メール				
助成区分		区分		助成配分金額		円			
助成申込事業 ※助成対象となるのは1つの事業のみです。		A 市民参加による地域福祉推進事業				①年36回以上			
		※別紙 活動・事業内容一覧を見て該当する事業内容をご記入ください。				②年10回以上			
		[]				③視覚・聴覚支援			
		B 障害当事者活動				①年36回以上			
		※別紙 活動・事業内容一覧を見て該当する事業内容をご記入ください。				②年10回以上			
		[]				③ハイク事業			
		C 福祉のまちづくり活動							
※別紙 活動・事業内容一覧を見て該当する事業内容をご記入ください。				21人以上／1回					
[]				5～20人／1回					
参加者数		サービス利用者 または障害者	名	ボランティア	名	その他(家族・講師等)		名	
■事業（活動）の実施状況振返り									
■事業の成果、今後の見込み									

収支報告 【申込事業の収支決算のみご記入ください】

(単位：円)

科目		当初予算額 ^{※1}	決算額	説明 (内訳・算出根拠) ^{※3}	
収入	こうなんふれあい助成金 (①)			こうなんふれあい助成金・決定額	
	自主財源 (②)	サービス利用者の利用料 障害当事者の会費 担い手・ボランティアの 会費等			収入小計 に対する 自主財源 の割合 ★20%以上
		他からの助成金・補助金			
		その他 ()			
		小 計 (①+②)			
	前年度繰越金 (H28→H29)			収入合計に 対する割合 () ★25%以内	
	積立金 (当該事業に要するもの)				
	収入合計 ^{※2}				
科目		当初予算額 ^{※1}	領収コピー 提出の項 目に○印を	決算額	説明 (内訳・算出根拠) ^{※3}
支出	助 成 対 象 経 費	コーディネーター人件費 (専任スタッフ給与)			
		専有の拠点設備と改修費			
		活動費 (ボランティア交通費・費用弁償等)			
		活動場所の維持費 (施設利用料・家賃・光熱水費等)			
		物品購入費 (施設入場料・観覧費なども含む)			
		謝金 (講師等、外部に支払うもの)			
		通信運搬費 (郵券・電話・インターネット利用料等)			
		車両経費 (燃料費弁償・車の借上げ料等)			
		保険料 (ボランティア活動保険・行事保険等)			
		印刷費 (会報・以外の案内の印刷費等)			
小 計					
助 成 対 象 外 経 費	次年度繰越 (H29→H30)				
	次年度への積立 (累計額)				
	食材費				
	その他 ()				
支出合計 ^{※2}					

※1 当初予算額の欄には、29年度申込書に記入した際の予算をそのまま書き写してください

※2 収入合計と支出合計は同額になります

※3 説明部分は、内訳・算出根拠を必ず詳しくご記入ください

※4 領収書は情報公開の対象となります(5年間保存)。報告の際、窓口にて確認させていただきます

〔A区分・B区分・C区分〕事業報告

平成29年4月～平成30年3月の申請事業における年間実施報告についてご記入ください。

月	A・B・C 区分	A区分	B区分	C区分	事業内容
	実施回数	利用者数/ 訪問回数	障害 当事者数	参加者数	
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
1					
2					
3					
合計					
平均					

■平均数を割り出す計算式

- ・ A区分：月ごとの利用者実数の合計 ÷ 12 か月 = 月平均の利用者数
- ・ A区分 新規立上げ(①家事・生活支援、②送迎)：
月ごとの延べ①訪問回数、②乗車利用者数の合計 ÷ 実施月数 = 月平均の①訪問数、②乗車利用者数
- ・ A区分 新規立上げ(集いの場、配食)：
月ごとの利用者数延べ人数の合計 ÷ 実施回数 = 1回あたりの平均利用者数
- ・ B区分：月ごとの参加当事者延べ人数の合計 ÷ 実施回数 = 1回あたりの平均参加者数
- ・ C区分：月ごとの参加者延べ人数の合計 ÷ 実施回数 = 1回あたりの参加者数

完了報告書の留意事項

完了報告書は年度終了後1ヶ月以内（平成30年4月末）にご提出ください。

年度途中での報告書の提出は出来ませんのでご了承願います。

領収書は5年保管をお願いします。

★留意事項

◆以下の使途は助成の対象外となりますので、ご注意ください。（詳細については、てびき参照）

(1) 個人に帰属する食費・食材費・備品購入費等

※ただし、交通費等の実費弁償費は対象となります。（ボランティアへの実費相当以上の謝金は認められません。）

(2) 団体の構成員の親睦のみを目的としたレクリエーション等の経費

(3) 介護保険・支援費の給付対象となる事業

◆助成金の配分を受けて行った事業に関しては、チラシ、口頭等で利用者・参加者の方に明示し、利用者・参加者募集の際は多くの方に参加してもらえよう努めてください。

例) こうなんふれあい助成金配分事業

◆以下の場合には助成金の取消・返還となります。

(1) 虚偽の申込により助成を受けた場合

(2) 実施事業が申込内容と著しく異なっている場合

(3) 前年度の報告書が提出されていなかった場合

※ また、実施回数やサービス利用者等の助成条件を実績として満たしていない場合は、翌年度の申請区分を見直していただくご相談を致します。

◆活動状況を把握するため、活動を見学に行かせていただく場合があります。

善意で集められた募金を配分しています。「地域福祉の推進に役立ててもらえるように」という募金者の思いを活動にぜひ活かしてください。

★参加者数の数え方（実数・延べ数）

A 区分（実数）

例) Aさん Bさん Cさん Dさん Eさん Fさん の登録者6人の場合

登録者	Aさん	Bさん	Cさん	Dさん	Eさん	Fさん
利用回数(4月)	1	2	0	0	3	2
利用回数(5月)	3	2	3	1	0	1

4月の参加者は 4人（Aさん・Bさん・Eさん・Fさん）

5月の参加者は 5人（Aさん・Bさん・Cさん・Dさん・Fさん） となります。

*参加者に含まれるのは、利用者のみです。ボランティア・家族・講師は含まれません

B 区分（延べ数）

例) Aさん Bさん Cさん Dさん Eさん Fさん の当事者6人の場合

登録者	Aさん	Bさん	Cさん	Dさん	Eさん	Fさん
利用回数(4月)	1	2	0	0	3	2
利用回数(5月)	3	2	3	1	0	1

4月の参加者は 8人（Aさん 1回・Bさん 2回・Eさん 3回・Fさん 2回）

5月の参加者は 10人（Aさん 3回・Bさん 2回・Cさん 3回・Dさん 1回・Fさん 1回）

となります。

*参加者に含まれるのは、当事者のみです。ボランティア・家族・講師は含まれません

C・D 区分（延べ数）

C 区分はボランティア・家族・講師も含め参加者全員を参加者とします